

令和4年度杉並区「教育調査」大宮小学校保護者用

回答フォームのURLをメールにて配信いたします。以下の回答方式で1~5の番号を入力してください。お子様1人につき、回答は1件です。令和5年1月7日までにご回答ください。

回答方式 5:とても思う 4:やや思う 3:どちらでもない 2:あまり思わない 1:まったく思わない 情報が十分になく、回答できない。

No.	領域	質問	具体的な活動内容（アンケート回答の参考にしてください。）
1	学校経営	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	本校では、前年に学校運営協議会で承認された各学年の年間指導計画に基づき、計画的に学習活動を展開しています。また、各学年の児童の発達段階に合わせて様々な活動も取り入れています。それぞれの学習や行事に、児童一人一人が一生懸命に取り組み、達成感が味わえるよう工夫しています。
2	学校経営	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	1学期に6年生が大宮中の授業と部活動を見学しました。2学期に大宮中の授業を済美小と本校の教員が参観し、3校で研究会を行いました。また「英語のおおみや」として、「英語生活文化体験授業」を実施し、3校で外国語科・外国語活動の充実を図っています。3学期には大宮中の英語科教員の出前授業や大宮中2年生の英語絵本の読み聞かせをする予定です。また、希望者による英語検定は学校支援本部の協力を得て大宮中会場で受験できます。
3	学校経営	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	10月号の学校だよりで学力調査の結果等を報告しました。今後、教育調査等の結果や改善策等を学校だよりやホームページでお知らせします。学校運営協議会の議事録もホームページで公開しています。
4	学習指導	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	年2回の学級状況調査(QU)を実施しています。結果から必要に応じて面談等をして、子供たちの学級内での人間関係を良好にしたり、個々の自己有用感を高めたりする手立てを講じています。また、月に1回の安全指導と安全点検を行い、危険な行動や場所には全職員で連携をして対応しています。
5	学習指導	子どもは、学校で学ぶことにより、必要なときに、必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っている。	「多様な学びの拡大」「主体的な学びの継続」「協働する学びの構築」を目指す学校像としています。その実現の方針の1つとして「自分なりの問い合わせをたて、自分たちの方法で知を学び取る」授業を展開しています。1人に1台のタブレットを活用し、自分で調べたり、調べたことをまとめたり、友達と情報を共有したりする授業を展開しています。
6	学習指導	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	学期毎の評価は、単元ごとの評価活動を基に、年3回の通知表「あゆみ」として保護者の皆様にお知らせしています。学習の目標を明確にし、学習の知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度について、評価活動を行っています。学習面だけでなく、生活面も同様に見ています。
7	学習指導	学校は、ICT機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。	電子黒板や教師用のデジタル教科書だけでなく、今年度から5・6年生では国語と英語のデジタル教科書を導入しています。また、1人1台の児童用タブレット端末を活用した授業を展開しています。学習アプリで基礎・基本的な学習内容の定着、情報共有アプリで友達や教員との情報交換などで活用されています。
8	道徳教育	子どもは、学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるために力が育まれている。	本校では、道徳の授業の他に挨拶運動や教室に広めたい言葉（各教室に掲示しています）・大宮グッドニュース等、学校生活全般で道徳教育を行い、子供たちの「自己有用感」や「自己肯定感」を高めることを目指しています。
9	体育・健康教育	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	体力テストの結果を分析し、体育の授業に反映させています。教員の専門性を活かして体育を教科担任にする学年が増えています。養護教諭の保健指導や保健だより・給食だよりの発行、健康に関する掲示物の作成、歯磨き指導（2年）、口腔保健指導（6年）、薬物乱用防止教室（6年）など健康増進の取組を行っています。
10	教育相談体制	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	副担任制や教科担任制で学級担任以外の先生にも話しやすい環境をつくりています。週1回、定期的に児童の情報を共有し、全教員で対応できるようにしています。また、スクールカウンセラーが週1日勤務し、子供自身の悩みだけでなく、保護者による我が子の成育の悩みの相談など、様々なご活用いただいています。
11	特別支援教育	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	特別支援教室だよりやスクールカウンセラーだよりを定期的に発行したり、職員室前の掲示板に特別支援教室の学習内容を掲示したりしています。学校公開時に特別支援教室の施設見学や教材展示等を行い、いつでも保護者からの相談が受けられるようにしています。2年生と5年生の児童には特別支援教室の学習内容の理解推進授業を行いました。
12	特別支援教育	子どもは、特別支援学校や特別支援学級の子どもと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	杉並区には特別支援学校や特別支援学級の児童と定期的に交流する「副籍交流」という制度があります。本校でも済美養護学校の児童と交流している学級があります。今年度は2学期に6年生のクラスで一緒にゲームをして交流しました。今後も交流の機会を設けていきます。
13	地域と共に在る学校	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	PTAや地域、学校支援本部、土曜日学校実行委員会の協力により、「本の読み聞かせ」「図書室の整備」「ヤゴ救出作戦（3年生）」「和田堀の生き物の観察（4年生）」「いちょう教室（放課後算数補習教室）」「土曜日学校」などを行っています。また、「大宮天神こどもまつりへの書画行燈の制作参加（4年）」「町探検活動（2・3年）」「和田堀公園での学習（1年）」など地域に出る学習活動を行っています。今年度も大宮八幡宮で行われていた「杉並花笠まつり」の芋煮のレシピと食材の提供を受け、給食で提供します。
14	学校経営（大宮小独自）	いじめや不登校などに対して、未然防止、早期発見、解決に向けて、教員が協力して取り組んでいる。	年3回のふれあい月間で「心のアンケート」を実施し、いじめの早期発見・早期対応、心の悩みの把握に努めています。また、年3回の「いじめ防止授業」を実施しています。いじめの報告には複数の教員で聞き取りを行い、事実確認・児童への指導・保護者への報告を行っています。教室になかなか入れない児童には副担任や養護教諭・通常学級支援員等が寄り添って声をかけています。担任だけでなく、児童や保護者が誰にでも相談できるように取り組んでいます。
15	学校経営（大宮小独自）	特色ある教育活動は、子どもたちの成長により効果をもたらしている。	学校生活の中で外国語に多く触れさせています。低学年は他の学校より15時間多く授業を行っています。また、毎週金曜日を英語DAYとし、登校時や清掃時に英語の音楽を放送しています。休み時間に英語を話したい児童が集まる「English Café」を11月から学年ごとに始めています。昨年度から青少年赤十字加盟校になり、「いのちの大切さ」を体験させ、防災教育・地域清掃などの活動を行っています。
16	情報提供（大宮小独自）	学校からの情報（学校・学年・学級通信・HP・集会等）により、学校での子供の様子が把握できている。	毎月始めに「学校便り」や「学年便り」を発行しています。また、「ホームページ」は毎日更新しています。運動会・授業参観では新型コロナウイルス感染防止策をした上で活動の様子を公開しています。10月の145周年記念集会をオンデマンド配信しました。